

第9回美ヶ原トレイルラン in ながわ 大会概要報告書

1, 開催日 令和 元年 6 月 29 日(土)

2, 参加者概要

クラス	エントリー	出走者	完走者	完走率
90km	100	91	49	53.8%
80km	770	688	395	57.4%
45km	467	411	402	97.8%
14 km	268	227	226	99.6%
合計	1,605	1,417	1,072	75.7%

3, 大会結果

クラス	制限時間	男子総合優勝	女子総合優勝
90km	16.5 時間	10 時間 57 分 26 秒	13 時間 28 分 23 秒
80km	16 時間	8 時間 25 分 09 秒	10 時間 47 分 53 秒
45km	10 時間	3 時間 47 分 37 秒	4 時間 10 分 09 秒
14 km	4 時間	1 時間 24 分 08 秒	2 時間 04 分 05 秒

4, スタッフ 長和町 143 名(公募ボランティア 25, 役場スタッフ 51, 協賛施設 35, 交通安全協会 12, JA15, 丸子中央 HP5)
大会運営会社(フィールズ社)約 95 名

5, 環境保護対策

H27年4月に環境省から示された「国立公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いについて」に準じて、下記環境資源保護対策を行いました。

○コース内には保護すべき貴重な環境資源がある旨を、大会パンフレットに掲載し配布。またホームページ等で周知しました。

○開催地域以外から植物の種子等を持ち込ませないため、事前にシューズ

の靴底を洗うよう SNS での告知、及びスタートゲートに泥落とし用のマットを敷設。

○美ヶ原牧場内のアースハンモック保護のため、コース規制の実施。

6, モニタリング

[事前モニタリング]

日程	モニタリングルート	参加者
6月24日	・八島湿原～ゼブラ山～トレランコースを大門街道頂上へ～ 国定公園境まで	県諏訪地域振興局環境課担当者 大会運営委員
6月26日	・扉峠～美ヶ原～物見石山下公園境 ・扉峠～和田峠	県上田地域振興局環境課担当者 大会運営委員

[事後モニタリング]

日程	モニタリングルート	参加者
7月1日	八島湿原～ゼブラ山～トレランコースを大門街道頂上へ～ 国定公園境まで	県諏訪地域振興局環境課担当者 大会運営委員
7月2日	・扉峠～美ヶ原～物見石山下公園境 ・扉峠～和田峠	県上田地域振興局環境課担当者 大会運営委員

7, 総括

今大会も第9回を迎え、本コースが雄大で素晴らしい景観として知られる八ヶ岳中信高原国定公園を中心としたコース設定であること、また、標高差が他大会と比較し大きいため参加選手の評判も大変よく、全国の数ある大会の中でも参加選手の多い大きな大会となっている。

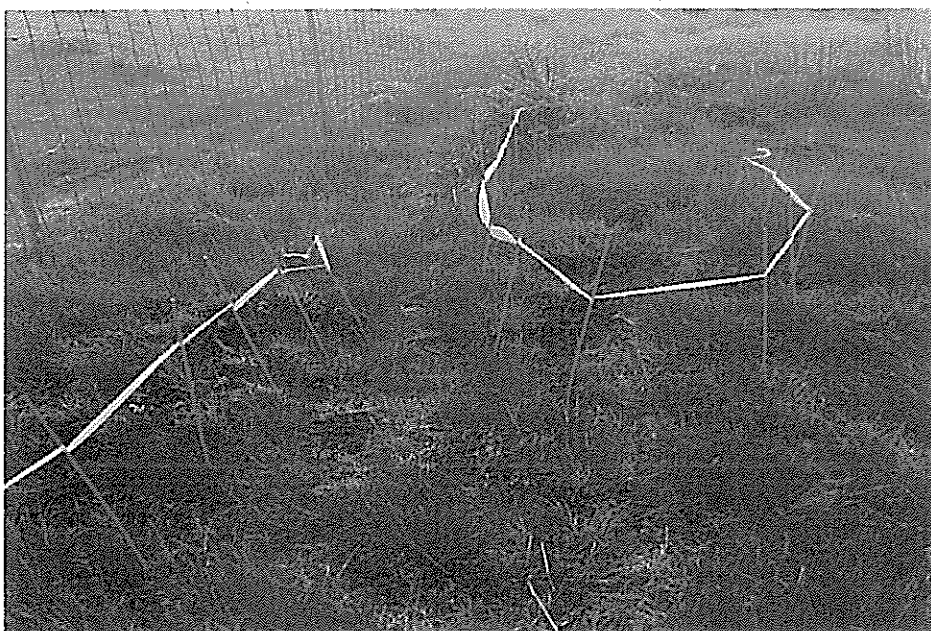
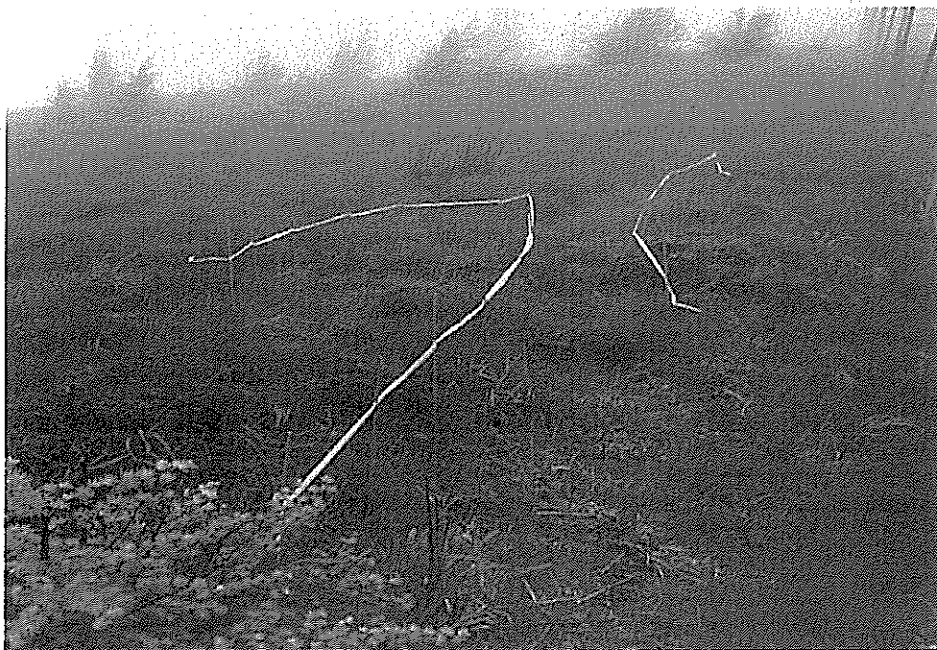
そのような中、第9回大会は昨年と同様のコース設定で開催された。ただ、近日の雨天等による足場の悪さで、環境への配慮を含めレース直前で若干のコース変更を行ったが、大会全体にわたり大きなトラブルもなく、自然環境に対しても特に問題はなかったと認識をしている。

今後も一般ハイカーや環境に注視した大会運営に努めていきたい。

「第9回美ヶ原トレイルラン IN ながわ大会開催による美ヶ原牧場付近アース
ハンモック及び男女倉山階状土等環境資源への影響調査報告」

美ヶ原アースハンモック

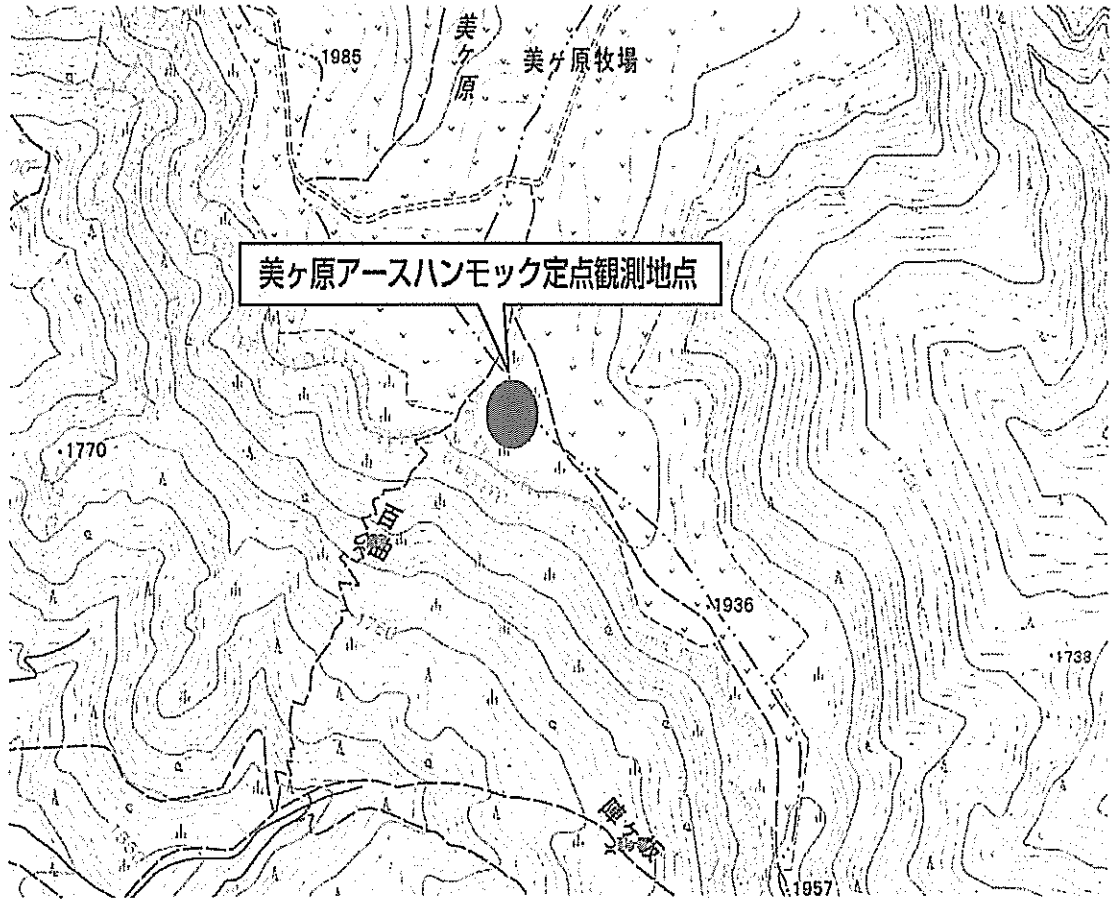
令和元年6月28日（大会前日）



令和元年7月2日 (大会後)



美ヶ原アースハンモック定点観測地点



美ヶ原塩くれ場南側歩道から、牛留柵沿いに茶臼山側へ100メートル付近の環境資源が分布されている地点に、ピンポールとテープを使用しコース規制をしました。

この地点を環境資源調査の定点観測地点とし大会前後で観測をいたしました。

その結果、歩道外へのはみ出しや、踏み荒らしの跡は認められず、アースハンモックなどの環境資源への影響はなかったものと思われま

す。また、大会当日は午後から雨天となりましたが、この地点を含め、美ヶ原台上については、午前中の早い時間帯で選手が通過しているため、全体的にもダメージ等はなかったものと思っております。

○モニタリング実施日

- ・事前モニタリング 令和元年6月26日(水)
- ・事後モニタリング 令和元年7月2日(火)

男女倉山（ゼブラ山）の階状土

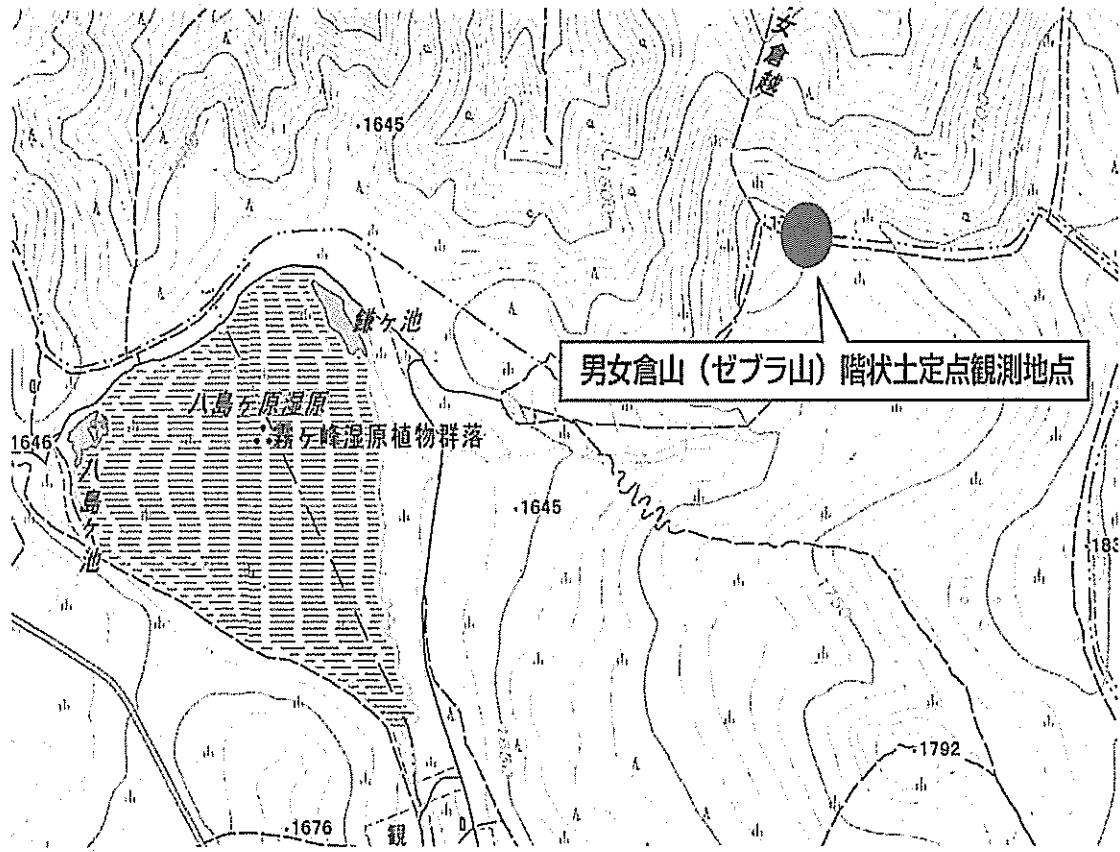
令和元年6月25日（大会開催前）



令和元年7月 1日 (大会開催後)



男女倉山（ゼブラ山）の階状土定点観測地点



男女倉山（ゼブラ山）山頂東側約80メートル地点を定点観測地点として設定し、定点観測を行いました。

斜度も比較的きつく、道幅も狭まっているところであり、スタートからまもなくの地点ということで、はみ出し、踏み荒らしも心配されたが、そのような状態はまったく無いことが確認されました。

また、この地点についても大会当日は午後から雨天となりましたが、この地点については、午前中の早い時間帯で選手が通過しているのと、午後の通過地点についてはコースを変更するなど対策を行ったため、全体的にもダメージ等はなかったものと思っております。

○モニタリング実施日

- ・事前モニタリング 令和元年6月24日(月)
- ・事後モニタリング 令和元年7月 1日(月)

第10回美ヶ原トレイルラン in ながわ大会概要

名称

本大会の名称を「第10回 美ヶ原トレイルラン in ながわ」と称して実施する。

開催日

2020年5月23日(土曜日) ※ 5月22日(金)前日受付・競技説明会

目的

長和町が平成22年開設した「霧ヶ峰・美ヶ原 中央分水嶺トレイル」の経済的利活用による観光資源としての価値の創造、及び地域・商工観光振興、宿泊施設の活性化を図ることを目的に社会的ニーズが高く、集客が見込まれる山岳スポーツであるトレイルラン競技を開催します。

運営組織

平成23年度第1回、24年度第2回大会は、長和町役場産業振興課の主管の基に開催しましたが、平成25年度より「美ヶ原トレイルラン in ながわ 大会実行委員会」のもとに、「運営委員会」を設けて実務的作業を実施する組織編成で大会を運営します。尚、大会の競技運営は(有)フィールズ社が担当します。

大会概要

第10回大会は、記念大会とし第9回大会で行われた90km、80kmのコースを廃止し、100K、50K、15Kの3コースとします。各コースとも昨年の台風19号の災害による影響のなかったところを主にコースとして設定を行います。

100Kコースは、長和町ブランシュたかやまスキーリゾートをスタートして、ゼブラ山、和田峠、三峰山、扉峠、茶臼山などの中央分水嶺を通り、美ヶ原高原では松本市のアルプス展望コースから王が鼻を周回して美ヶ原台上を通過し、長和町と上田市の境界の稜線を下り、マルメロの駅ながと、長和町役場を通過し、町道長久保青原線から中山道和田宿を経て、美ヶ原、中央分水嶺を再び通りたかやまスキー場に戻るコースであります。

50kmコースも、100Kコースと同様にブランシュたかやまスキーリゾートをスタートし、中央分水嶺を通るコースですが、途中美ヶ原ではアルプス展望コースから王が鼻の周回はせず、美ヶ原牧場の牧柵外側を通り、美ヶ原台上を通過し、長和町と上田市の境界の稜線を下り、マルメロの駅ながと、そして長和町役場がゴールとなります。

15kmコースはブランシュたかやまスキーリゾートからエコーバレースキー場・殿城山を周回するコースです。

1) 競技種目及び制限時間・募集人員

100km	制限時間 29 時間	800 名
50km	制限時間 12 時間	500 名
15km	制限時間 4 時間	300 名

2) スケジュール及び内容

5月22日(金) 13:00~20:00 前日受付(100Kは前日受付のみ)
14:30~15:00 選手ミーティング1回目(競技説明会)
16:00~16:30 開会式
16:30~17:00 選手ミーティング2回目(競技説明会)

5月23日(土) 05:00 100kスタート (~翌日 9:00)
08:00 50kスタート (~同日 20:00)
09:00 15kスタート (~同日 13:00)
13:00 15k 制限時間
14:00~ 表彰式(20K、50K)
20:00 50K 制限時間

5月24日(日) 09:00 100kスタート 制限時間
09:00 表彰式(100k)

3) 競技守則

参加者には下記事項を守り競技することを注意喚起します。

- (1) ゴミをコース上に投げ捨てない。
- (2) 必要な装備品は必ず携帯する。
- (3) 競技規則を守り、審判及び指導員の指示に従う。
- (4) 自然環境保護・保全に反する行動はしない。
- (5) ハイカー、登山者を優先して競技を行う。
- (6) その他、トレイルランナーとしての自覚を持って参加する。

宿泊

本大会は、信州・長和町観光協会に加盟する宿泊施設の内、大会協賛宿泊施設が中心となり運営する競技大会です。大会参加者は競技参加費用とは別に大会運営に係わる費用の一部として大会協力金を納入いただくことが参加条件となります。大会協

力金は大会協賛宿泊施設に宿泊の場合は宿泊費へ補填します。その他の宿泊施設を利用の場合、大会協力金は返還致しません。また、宿泊に関する細則は運営委員会宿泊部会の決定に依ります。

認可・申請・依頼

本大会の係わる競技コースの利用に関する公的機関への申請、認可手続き、または、私有地、私有施設等の利用依頼などの手続きは、長和町役場産業振興課および信州・長和町観光協会が窓口として大会実行委員会の職務の任に当たることとします。

大会役員

大会会長	羽田 健一郎	長和町町長
実行委員長	牛山 吉郎	長和町観光協会会長
運営委員長	森 達也	大会運営委員長
競技運営	野々山 晴之	フィールズ社代表

マルメロの駅なかと

50K 制限: 12h

エイドステーション

【長和町役場】



62/100k 関門: 23:00



今回新たにコースに加わった部分です。走りやすい寝線がつづきませんが展望もなく長いです。

Caution

長和町役場エイドから和田宿エイドまでは旧中山道を走りますが、車道になりますので車高に注意して横断所では誘導員に従って下さい。



100kコース最高地点。他とは違う荒々しい美ヶ原の姿を見ることが出来ます。最も過酷で美しいエリアです。

41.5/100k 関門: 17:00

32.5/ 50k 関門: 16:00

81.5/100k 関門: 3:00

エイドステーション

【山本小屋】



物見石山はガレた場所が多くありますので、足元に注意して気を付けて通過しましょう。

Caution

道が不明瞭で分かりにくい場所です。誘導テープをしっかりと確認して下さい。

王ヶ鼻 王ヶ頭

美ヶ原牧場



美ヶ原牧場内には貴重な自然環境が残されています。絶対にコースを外れる事のないように！観光客も多いのですれ違う時は歩行して下さい。

Caution

トイレ利用の場合は誘導員の指示に従って道路を横断して下さい。

エイドステーション

【和田宿】



71.5/100k 関門: 24:00



和田宿のエイドで提供されるお蕎麦は選手に好評です。しかし、この後に1000mの登りが待っています。



美ヶ原トレイルの龍騎味を感じる展望の素晴らしい稜線です。

ウォーターステーション

【原峠】



27/100k 関門: 13:00

27/ 50k 関門: 14:00

87/100k 関門: 5:00

エイドステーション

【和田峠】



21/100k

21/ 50k

93.5/100k 関門: 7:00

100K スタート: 5:00 / 制限: 29h

50K スタート: 8:00

15K スタート: 9:00 / 制限: 4h

大会会場

プランシュたかやまスキーリゾート

長門緑地等管理・中央センター

標高差400mをゲレンデトップまで一気に駆けあがります。



ゼブラ山と和田峠間は展望のつかない試練の道。アップダウンが続き体力を奪われます。



ゼブラ山

エコバレースキー場

ウォーターステーション

【エコバレースキー場】



15Kのみ



粟科山・八ヶ岳・霧ヶ峰・八島湿原そして北アルプスまで、360°の絶景が楽しめます。

白樺湖